



建設中の校舎

校章



飯野高等学校

〒513-0803 鈴鹿市三日市町1695番地
☎ 383-3011 ☎ 383-1158 ✉ hiino61@hiino.mie-c.ed.jp

本校は、昭和49年に、市内の紡績工場で働く勤労青少年のための昼間二部定時制の高校として創立されました。昭和62年に2つの専門学科からなる全日制が併設され、平成9年の定時制閉校の後には、全日制のみの高校として開設20周年にあたる本年に至っています。

県下唯一の美術・デザインの専門学科を有する本校の校舎内には、玄関に設置したギャラリーをはじめ、さまざまな場所に生徒や卒業生の作品が展示されています。また、在学生の応募作品が亀山市の新しい市章に採用されるなど、生徒のデザインが校外の方々の目に触れる機会も多くなってきました。

飯野高校は、英語コミュニケーション科を中心に国際交流がとでも盛んで、オーストラリアにある姉妹校のローズヴィル学院とは、開設2年目から相互訪問交流を続けています。海外留学に出かける生徒が多いのも特徴です。平成6年に東海三県の公立高校で最初に実施した海外修学旅行は、現在も継続しています。



飯野高等学校校歌

作詞 阪田 寛夫
作曲 大中 恩

一 鶯の花
つばさの白はわが心
春の朝
夏のまひるにはばたいて
希望の輪をえがきつつ
今日の日を磨けば
なにか告げるように
光る山脈

二 草の根に
光といのち受けた日々
秋の午後
冬の入り日もさわやかに
旅立つ朝想いつつ
今日の日を磨けば
花が匂うように
もえる山脈

風薫る鈴鹿の野べに
咲きにおう
飯野高校



わたしたちの
まちの

Vol.3

【応用デザイン科】

1年次は造形表現の基礎基本を学び、2年次から、美術(油絵、日本画、彫刻)、商業デザイン、服飾デザイン、コンピュータグラフィックスの4コース(6専攻)に分かれます。集大成である卒業制作展(今年度は1月30日~2月4日に三重県総合文化センターで実施)で、学習の成果を発表します。卒業後は、多くの生徒が東京芸術大学、愛知県立芸術大学をはじめとする芸術大学や短大、専門学校などに進んで、専門の勉強を続けています。

【英語コミュニケーション科】

専門学科ならではの少人数講座や常勤の2人の外国人英語指導助手を活用して、「読む、書く、聴く、話す」という英語の力をバランスよく伸ばして、英語検定合格や進路希望の実現につなげます。平成19年度入学生からは、国立大学や難関私立大学入試に対応する新たなコースをスタートさせ、さらに強力に進学希望をサポートすることになっています。

広報すずか 2006年11月5日号



キーボード

先日、市民の方からこんなお話をお聴きました…。
「敬老会に高校の吹奏楽団の方に出演いただいた。演奏のみならず演劇をしながらメッセージ付きのプレゼントまでいただいた。とても心温まるメッセージで、感激して涙するご老人もいた。さら

に、演奏を終えいったん会場を去った高校生が、2時間ほど経った敬老会終了後、再登場して後片付けを率先して行ってくれた。予想外の助っ人に大変感激した」というものでした。
若者の心温まる行動。見習いたいものです。(憲)

表紙写真

鈴鹿ナンバー出発!

撮影場所 ベルシティ
撮影日 平成18年10月10日
撮影者 秘書広報課

